

平成 28 年度東濃支部学術研修会報告

8月6日（土）に開催された研修会について、以下に報告致します。

今回は、セラトピア土岐にて、市立恵那病院の岡山好男先生、多治見市民病院の安藤誠康先生をお招きして、「基礎から学ぶ呼吸・心臓リハビリテーション」と題し、ご講演頂きました。参加者は40名で、去年に引き続き東濃支部以外からの参加者が多かったことと、経験年数10年目以上の参加者が3割以上だったこと、OT、STの参加者がいたことが特徴でした。



前半は、岡山先生に呼吸リハビリテーションについてご講義頂きました。呼吸リハビリテーションの概論から始まり、主に誤嚥性肺炎とCOPDの病態について、各種評価や運動療法について基礎から分かりやすくご説明頂きました。講義の最後には、症例提示があり、受講者全員がどのように評価から展開していくかを考える時間を設けて頂きました。



後半は、安藤先生に心臓リハビリテーションについてご講義頂きました。心臓の解剖など基礎的な内容から始まり、主に心不全の病態や評価項目、運動療法についてユーモアを交えながら分かりやすくご説明頂きました。前半と同様、実際提示があり、評価からアプローチの流れを詳細にご説明頂きました。

今回、呼吸・心臓リハビリテーションどちらも携わったことがない受講者が多い中で、各講義とも1時間半という短い時間で、基礎から症例を検討するまでの一連の思考過程を学ぶことができ、受講者からのアンケート結果は好評でした。



最後に、貴重な時間をさいてご講演頂きました安藤先生、岡山先生、準備に携わってくれたスタッフの皆様に心より御礼申し上げます。

東濃支部学術研修担当 浅井智也